

電子材料・デバイス先端技術 動向調査報告会

—平成22年度「電子材料・デバイス技術専門 委員会」活動成果報告—

■主催：電子材料・デバイス技術専門委員会

■担当部署：知的基盤部

■参加者数：約80名

概要

当協会「技術戦略委員会」（委員長：須藤 亮 氏／（株）東芝）の下部組織である「電子材料・デバイス技術専門委員会」（委員長：島 顕洋 氏／三菱電機（株））では、IT・エレクトロニクス産業の今後の発展にとって重要と考えられる電子材料・デバイス技術の先端技術動向について、大学研究機関と連携して調査研究活動を実施しています。

委員会では、毎年公開形式で報告会を開催し、傘下に設置されている分科会の2年間の調査研究結果について紹介しています。今年度も「ナノカーボンエレクトロニクス技術」「フレキシブルデバイス技術」の各分科会で行った調査内容を報告するため「電子材料・デバイス先端技術動向調査報告会」を企画いたしました。今回は特別講演として大阪大学招聘教授・（株）マグナデザインネット社外取締役 赤坂洋一氏に「産学連携への期待」と題して、シリコンバレーと比較した日本の問題などについて、また「アンビエントエレクトロニクス」と題して、東京大学 桜井貴康先生から安全で豊かな生活を支援するための先端エレクトロニクス技術についてそれぞれで講演いただきました。報告会は、電子材料・デバイス技術専門委員会委員長を務める島 顕洋 氏（三菱電機（株））の司会により開会の挨拶の後、以下の内容で進められました。

クスの」と題して、東京大学 桜井貴康先生から安全で豊かな生活を支援するための先端エレクトロニクス技術についてそれぞれで講演いただきました。

報告会は、電子材料・デバイス技術専門委員会委員長を務める島 顕洋 氏（三菱電機（株））の司会により開会の挨拶の後、以下の内容で進められました。



プログラム

○特別講演「産学連携への期待 —シリコンバレーと日本—」

赤坂洋一 氏（大阪大学招聘教授、（株）マグナデザインネット社外取締役）

○特別講演「アンビエントエレクトロニクス」

桜井貴康 氏（東京大学 生産技術研究所 教授）

○「ナノカーボンデバイスの最新動向について —グラフェン、ナノチューブの成長から新規デバイス応用まで—」

松本和彦 氏（大阪大学／ナノカーボンエレクトロニクス技術分科会委員長）

○「フレキシブルデバイス技術動向 —電子ペーパーからウェアラブルまで—」

染谷隆夫 氏（東京大学／フレキシブルデバイス技術分科会委員長）